

福岡市東区企画振興課 御中

東区魅力発信事業実施報告書

令和 7 年 1 2 月 2 5 日
九州産業大学地域共創学部観光学科
観光地域振興プロジェクト

もくじ

はじめに	～東区魅力発信事業実施にあたって～	…3頁
1.	福岡市東区の事業目的 及び、令和7年度本学の取り組み 訪れたくなるようなフォトスポット取り組みエリア ①アイランドシティ ②和白干潟 ③御島崎・香椎浜	…4頁 … (5～7頁)
2.	実施スケジュール	…8頁
3.	実施内容 (1) 日常の中で気づいた魅力的な風景 (2) 訪れたくなるようなフォトスポットの紹介 (3) 一人一花運動の推進 (4) アイランドシティまちびらき20周年事業への協力	…9頁 … (10～14頁) … (15～20頁) … (21～25頁) … (26～29頁)
4.	まとめ	…30頁

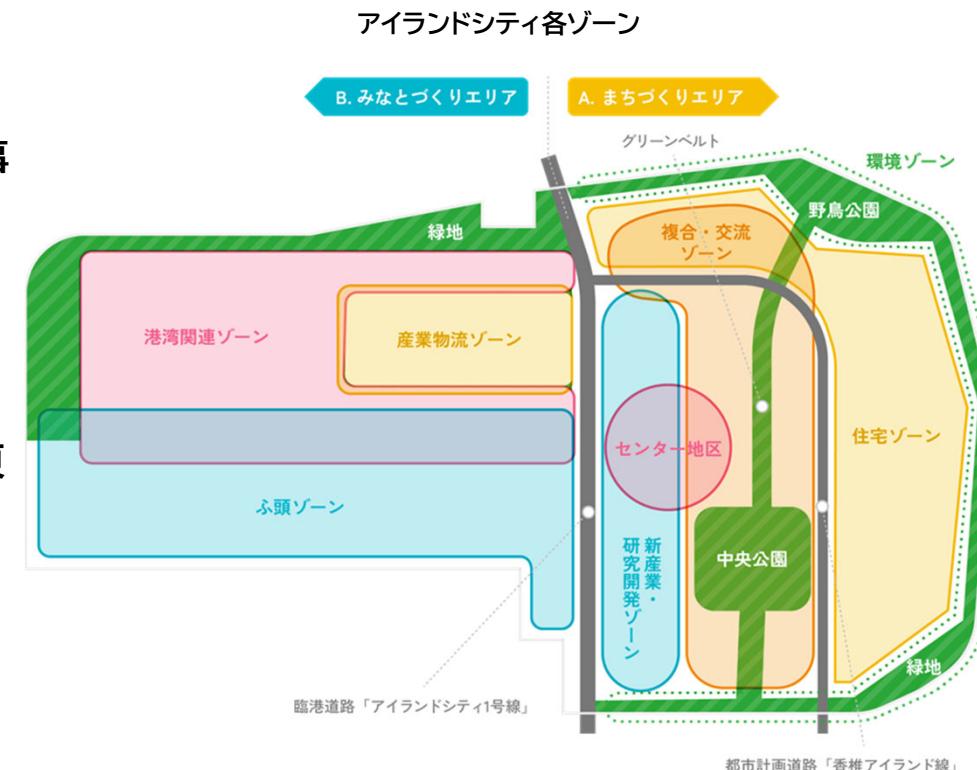
はじめに ~東区魅力発信事業実施にあたって~

令和7年、アイランドシティは「まちびらき20周年」という節目を迎えた。

九州産業大学は、「产学一如」という理念のもと、自治体・産業界と連携して、地域・社会の課題解決への貢献することを目指している。今回、福岡市東区より「東区魅力発信事業」として①「アイランドシティ」、②「和白干潟」、③「御島崎・香椎浜」エリアの魅力を学生目線で見つけ、発信していくことへの協力依頼をいただいた。

東区魅力発信事業を通じて、私たち九州産業大学が位置する地元を改めて見つめなおし、学生目線で再発見した東区の魅力を広めることの一助となりたいと思う。

(アイランドシティの各ゾーンは右図の通り)



1.福岡市東区の事業目的 及び、令和7年度本学の取り組み

1-1 事業目的

➤歴史や文化、自然などの東区の魅力を発信し、多くの人に実際に訪れていただくことで、活力のあるまちづくりを進める

1-2 令和7年度本学の取り組み

- (1)訪れたくなるようなフォトスポットの紹介
- (2)一人一花運動の推進
- (3)アイランドシティまちびらき20周年事業への協力

訪れたくなるようなフォトスポット取り組みエリア

- ①アイランドシティ
- ②和白干潟
- ③御島崎・香椎浜

取り組みエリア



訪れたくなるようなフォトスポット取り組みエリア① アイランドシティ



訪れたくなるようなフォトスポット取り組みエリア② 和白干潟



訪れたくなるようなフォトスポット取り組みエリア③ 御島崎・香椎浜



アイランドシティ外周緑地
遊歩道

あいたか橋
遊歩道

御島神社
野鳥

アイランドシティのビル群
夜景・夕景

2.実施スケジュール

				備 考
1Q	1	4月7日(月)	東区様より事業概要案内及び授業ガイダンス	WEB・SNSアドバイザー (一社)九州観光機構 白澤恒平氏
	2	4月21日(月)	チーム編成:アイランドシティ、和白干潟、御島崎・香椎浜	
	3	4月28日(月)	各チーム エリア調査	
2Q	4	5月12日(月)	※5/12:WEB・SNSアドバイザー 白澤様講義	志賀海神社七夕祭り「竹灯籠」制作
	5	5月26日(月)		
	6・7	6/9.16.23(月)	おすすめ撮影スポットコースの作成、 情報投稿(インスタグラム)	
夏休み	8	7月7日(月)		志賀海神社七夕祭り
	9	7月14日(月)	※6/9(月),16(月),23(月),7/7(月),14(月) 「和白干潟」、「御島崎・香椎浜」、「アイランドシティ」撮影 ※「#一人一花」情報投稿(インスタグラム)	
3Q	8	8月5日(火)	志賀海神社七夕祭り設営準備	
	9	8月6日(水)	志賀海神社七夕祭り運営	
	10	8月7日(木)	同上 会場片づけ	
4Q	10	9月15日(月)	後学期(3.4Q)取組みについて	
	11	9月22日(月)	「#一人一花」写真・コメント作成	
	12	9月29日(月)	東区へ「#一人一花」写真・コメント提出	
	13	10月13日(月)	アイランドシティまちびらき20周年ワークショップ	
	14	10月20日(月)		
	α	10月26日(日)	アイランドシティまちびらき20周年記念式典で企画発表	
	15	11月17日(月)		
	16	12月15日(月)	※東区魅力発信事業報告書 作成&完成	
	17	12月22日(月)		

3. 実施内容

- (1) 日常の中で気づいた魅力的な風景
- (2) 訪れたくなるようなフォトスポットの紹介
- (3) 一人一花運動の推進
- (4) アイランドシティまちびらき20周年事業への協力

3- (1) 日常の中で気づいた魅力的な風景

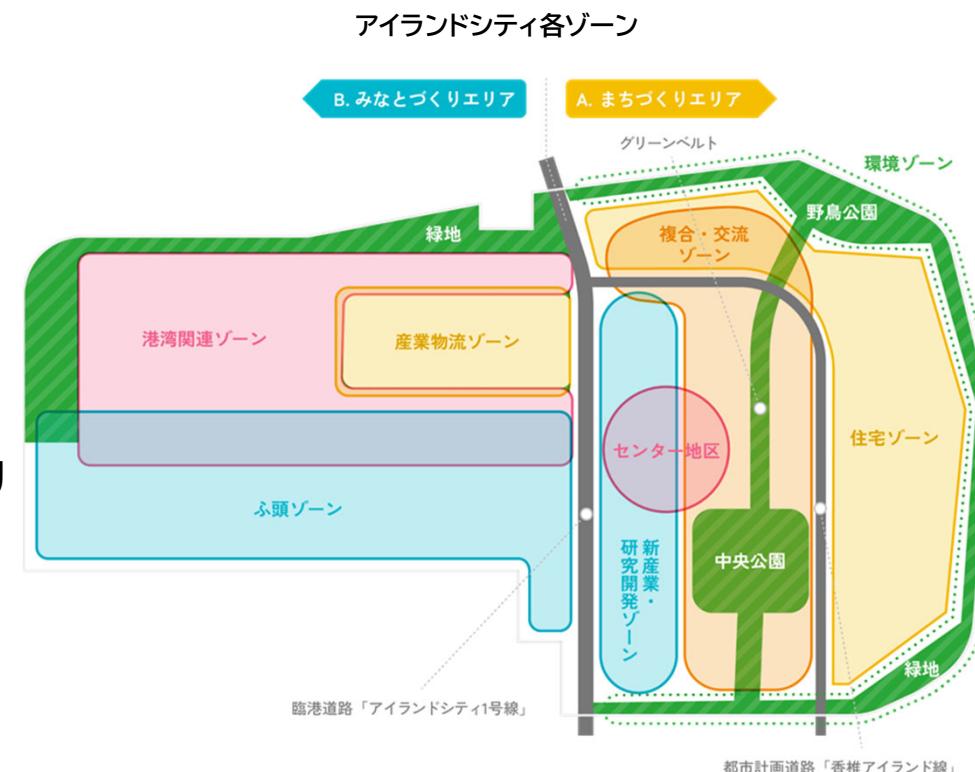
最初に「まちびらき20周年」を迎えたアイランドシティを学生メンバーで歩き、魅力的な風景と感じたことについて記すこととする。

参考)アイランドシティ概要
([公式]福岡アイランドシティDAYSより)

中央を走る臨港道路「アイランドシティ1号線」を境に、東側、西側と都市機能をわけることで、利便性と快適性に配慮した都市。

世界と福岡を結ぶ物流拠点のエリアを「みなとづくりエリア」、未来都市の機能を備えた自然豊かな暮らしが広がるエリアを「まちづくりエリア」としている。人口15,180人(世帯数:5,418世帯)、総面積401.3ha、まちづくりエリアは191.8ha。(R5年9月末現在)。

1920年に計画が開始された。



3- (1) 日常の中で気づいた魅力的な風景

①アイランドアイ 照葉ダイニング 店内風景
〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉6丁目6-6

建物の中に入ると数々の飲食店が並んでおり、大人が飲みに行きたくなるようなもつ鍋・もつ焼き店から子供たちの目を引くアイスクリームまで、様々なショップが展開されていた。赤茶のレンガに黒い壁紙で統一されていたり、おしゃれな間接照明が使用されたりなど、内装にもこだわりが感じられる。イートインスペースも充実していて、床もきれいな状態が維持されている。

木目調の天井には無数の間接照明が吊るされていて、酒場の賑わいを想像させる。また、開放的な窓からの太陽光の差し込みも相まって、店内の雰囲気はとても明るく、ショップのレパートリーも充実していた。



アイランドアイ店内風景 2025/05/07 学生撮影

3- (1) 日常の中で気づいた魅力的な風景

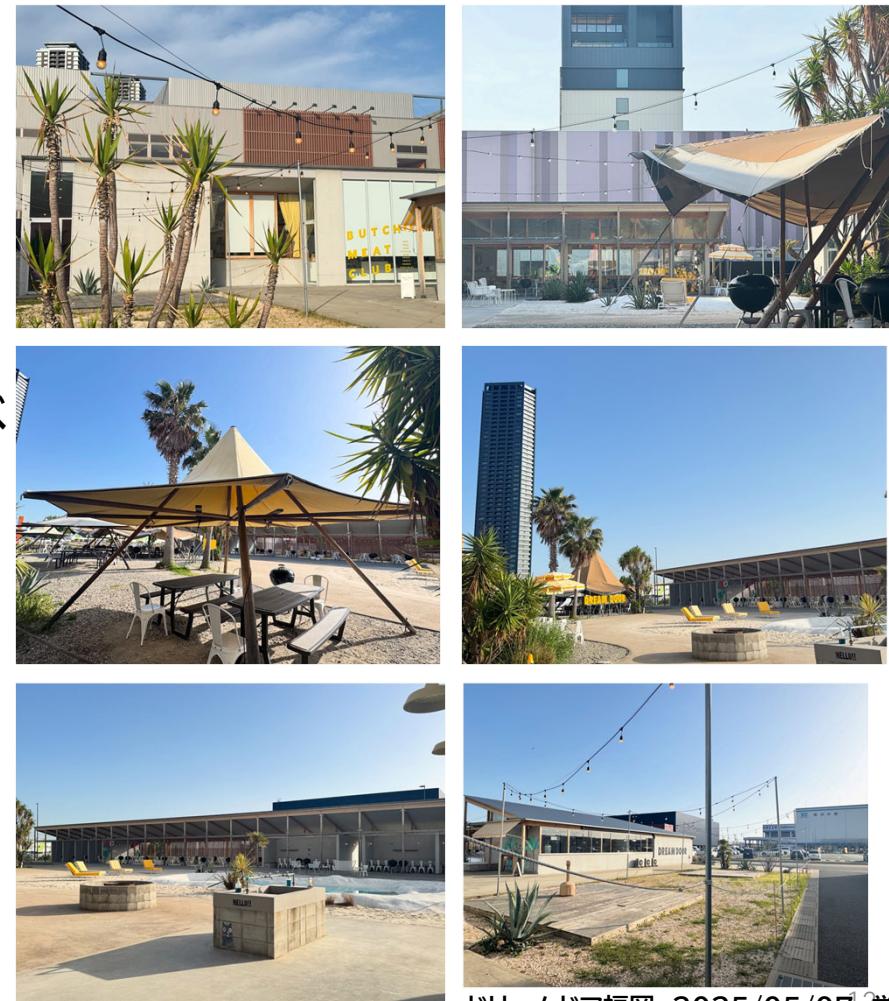
②DREAM DOOR FUKUOKA(バーベキュー施設)
〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉6丁目6-6

DREAM DOOR FUKUOKAは、アイランドアイの目の前に広がるバーベキュー施設である。西海岸風を思わせるホワイトサンドや多肉植物、ビーチブルーの建物など、海外リゾートのような空間を楽しむことができる。

テラス席や個室、キッズルームなどシーンに合わせて選べるスペースが完備されていた。

ほかにも魅力的なのは、手ぶらで参加し手ぶらで帰れるところだ。食材、機材が用意され、気軽にBBQを楽しめる。食べ放題&飲み放題のプランや持ち込み可能なプランなどニーズに合わせて選択可能である。

THE BAR(ドリームドア内Bar)では、本格的なカクテルやクラフトビールなどが販売されていた。夕方から夜にかけてはライトアップし、より一層、写真映えするおしゃれな雰囲気であった。



ドリームドア福岡 2025/05/07 12学生撮影

3- (1) 日常の中で気づいた魅力的な風景

③あいたか橋

〒813-0003 福岡県東区香住ヶ丘7丁目

アイランドシティと香住ヶ丘を結ぶ日本最大級の歩行者、自転車専用海上橋。周辺住民のウォーキングや散策道としても利用され、海風を感じつつ開放的な海辺の景観が楽しめる。

実際に訪れてみたところ、平日15:30という時間帯でもジョギングしている人を多数見かけたり、部活動での走り込みを行っている学生とすれ違ったりした。平日の昼間でも利用者は一定数いた。

湖を眺めていると、様々な生き物を見かける。真っ白なハクセキレイやカルガモなどが泳いでいたので、水辺のバードウォッチングも楽しめる。写真は岩の上で止まっている鳩を撮影した。

全長430メートル、2013年3月に開通。夕暮れ時には空が赤やオレンジに染まり、海面に移る建物の明かりも相まって、幻想的な景色になる。

夜間には橋に設置された照明が点灯し、ロマンチックな雰囲気。遠くで建ち並ぶビルを背景に、アイランドシティへ架かる橋と水辺という構図で撮影した。



あいたか橋 2025/05/07 学生撮影

3- (1) 日常の中で気づいた魅力的な風景

④アイランドシティ中央公園

〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉4丁目1

アイランドシティ中央公園は、自然との共生をテーマにした都市型公園である。家族連れからカップル、シニアまで幅広い世代に親しまれている。四季折々の風景や多彩な施設が魅力的で、住民たちの日常の憩いの場に最適なスポットとなっている。

この写真は、シロツメクサ畑にカメラを寄せて、マンションを見上げる形で撮影した。周りでは小中学生がキャッチボールをしていたり、仲のいい夫婦が犬を連れて散歩していたりと、街の賑わいを見せていた。

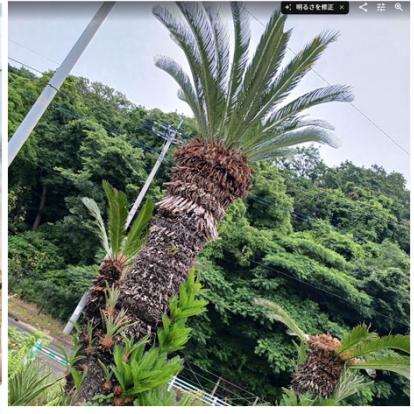


アイランドシティ中央公園 2025/05/07 学生撮影

3- (2) 訪れたくなるようなフォトスポットの紹介

対象エリア写真撮影 雨天でも楽しめる御島崎・香椎浜

アイランドシティ、和白干潟、御島崎・香椎浜を学生目線で魅力が伝えられる風景を探しに、6月3回、7月2回、写真撮影へ



撮影日:2025年6月9日 撮影者:学生

3- (2) 訪れたくなるようなフォトスポットの紹介

対象エリア写真撮影 曇天でも楽しめる和白干潟

アイランドシティ、和白干潟、御島崎・香椎浜を学生目線で魅力が伝えられる風景を探しに、6月3回、7月2回、写真撮影へ



撮影日:2025年6月16日 撮影者:学生

3- (2) 訪れたくなるようなフォトスポットの紹介

対象エリア写真撮影 アイランドシティはばたき公園

アイランドシティ、和白干潟、御島崎・香椎浜を学生目線で魅力が伝えられる風景を探しに、6月3回、7月2回、写真撮影へ



子ども・大人もリクエストにより、レクチャーが受けられ、素敵な学びが得られます。

撮影日:2025年6月23日 撮影者:学生

3- (2) 訪れたくなるようなフォトスポットの紹介

対象エリア写真撮影 アイランドシティはばたき公園

アイランドシティ、和白干潟、御島崎・香椎浜を学生目線で魅力が伝えられる風景を探しに、6月3回、7月2回、写真撮影へ



双眼鏡は無料で貸してくれ、野鳥・遠景を間近で見ることができます。

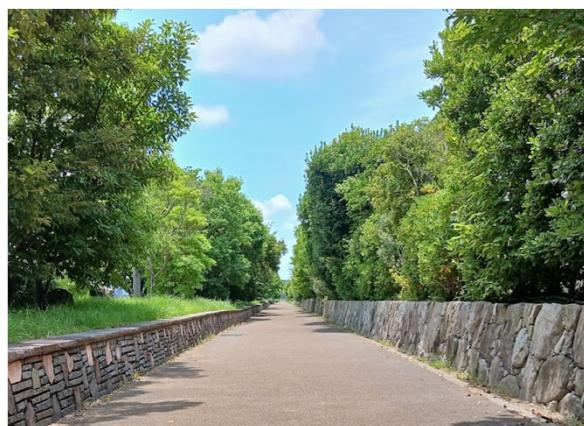


撮影日:2025年6月23日 撮影者:学生

3- (2) 訪れたくなるようなフォトスポットの紹介

対象エリア写真撮影 和白干潟～あいたか橋～アイランドシティ

アイランドシティ、和白干潟、御島崎・香椎浜を学生目線で魅力が伝えられる風景を探しに、6月3回、7月2回、写真撮影へ



撮影日:2025年7月7日 撮影者:学生

3- (2) 訪れたくなるようなフォトスポットの紹介

対象エリア写真撮影 和白干潟から望むアイランドシティ

アイランドシティ、和白干潟、御島崎・香椎浜を学生目線で魅力が伝えられる風景を探しに、6月3回、7月2回、写真撮影へ



撮影日:2025年7月14日 撮影者:学生

3- (3) 一人一花運動の推進



東区で見つけた「花々」を学生が投稿した事例①

ハッシュタグ #東区一人一花 をつけて東区インスタアカウントをメンションして@fuk_higashiku_ksu_2024 投稿



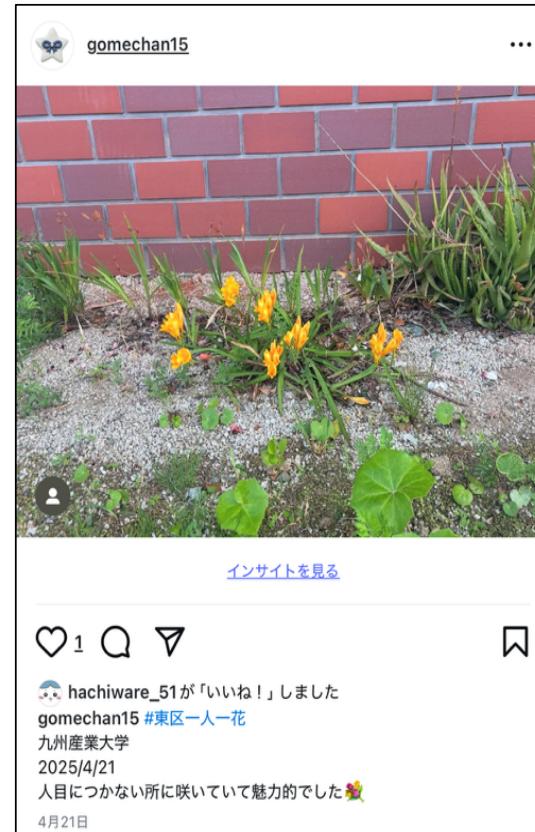
撮影期間:2025年4月28日~9月15日 投稿:4月、5月投稿した事例 撮影者:学生

3- (2) 一人一花運動の推進



東区で見つけた「花々」を学生が投稿した事例②

ハッシュタグ #東区一人一花 をつけて東区インスタアカウントをメンションして@fuk_higashiku_ksu_2024 投稿例



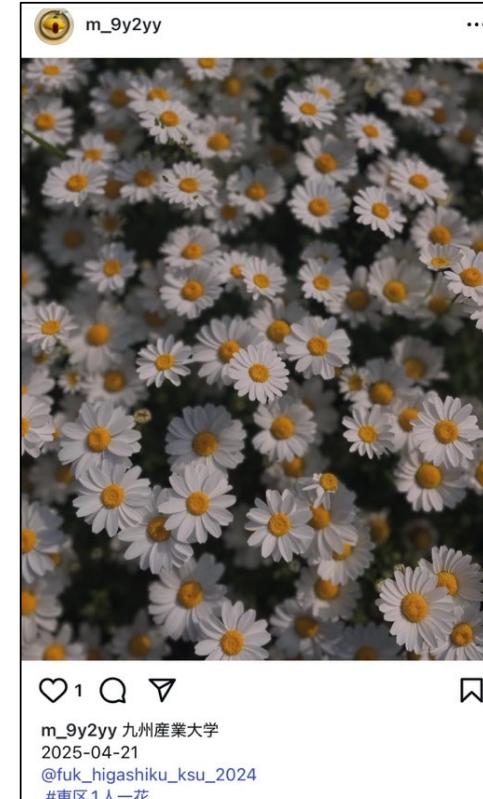
撮影期間:2025年4月28日～9月15日 投稿:4月、5月投稿した事例 撮影者:学生

3- (2) 一人一花運動の推進



東区で見つけた「花々」を学生が投稿した事例③

ハッシュタグ #東区一人一花 をつけて東区インスタアカウントをメンションして@fuk_higashiku_ksu_2024 投稿例



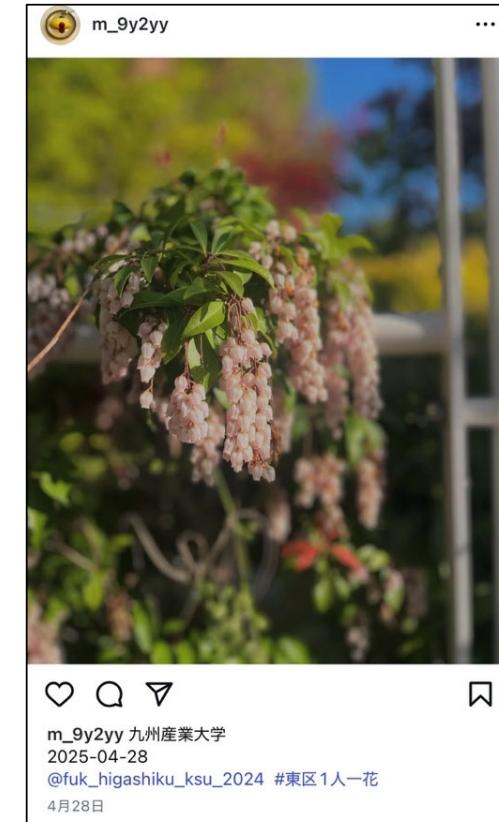
撮影期間:2025年4月28日～9月15日 投稿:4月、5月投稿した事例 撮影者:学生

2-2 (2) 一人一花運動の推進



東区で見つけた「花々」を学生が投稿した事例④

ハッシュタグ #東区一人一花 をつけて東区インスタアカウントをメンションして@fuk_higashiku_ksu_2024 投稿例



撮影期間:2025年4月28日～9月15日 投稿:4月、5月投稿した事例 撮影者:学生

3- (2) 一人一花運動の推進



東区で見つけた「花々」を学生が投稿した事例⑤

ハッシュタグ #東区一人一花 をつけて東区インスタアカウントをメンションして@fuk_higashiku_ksu_2024 投稿例



撮影期間:2025年4月28日～9月15日 投稿:4月、5月投稿した事例 撮影者:学生

3- (3) アイランドシティまちびらき20周年事業への協力

アイランドシティまちびらき20周年記念式典で、企画を発表！



アイランドシティ20周年記念式典で発表



学生が撮影したおすすめスポットの写真パネル展示

10月26日(日)、アイランドシティ(福岡市東区)のまちびらき20周年を記念し開催された「これからのまちの未来を創造するワークショップ」に、地域共創学部観光学科永松毅文教授が担当する「観光地域振興プロジェクト」を受講する学生が参加し、未来のまちづくりに向けた企画提案を行いました。

当日、アイランドシティ中央公園で開催された記念式典では、福岡市の高島市長をはじめ、街づくりに関わった関係者や市民など約130名の前で、同学科3年生の福園楓音さん(島原高校)が発表。これからの「循環」社会の実現をテーマに、アイランドシティの3つの校区を「地域交流の場」として、フリーマーケットを通じた持続可能な社会づくりを目指す「くるくるマーケット！」を提案しました。

また、同式典会場では、学生が撮影・制作した「アイランドシティの見どころスポット写真パネル」が展示されました。

福園さんは「ファミリー層が多いアイランドシティで、資源の循環や地域交流を生み出す企画を実施することで、持続可能なアイランドシティの未来を創ることにつながると考え、チームで試行錯誤を重ねました。この活動を通して、私たち自身が未来の社会を担う存在であることを実感することができました」と語りました。

本学では、プロジェクトを通じて、福岡市東区など自治体と連携し、地域課題の解決に向けた学生による提案活動を行っていきます。



ワーキングで企画を検討

上記情報「九州産業大学HP」掲載
<https://www.kyusan-u.ac.jp/faculty/chiiki/news/islandcity20th/>

参考：アイランドシティ20周年特設ホームページ（福岡市HP）
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/kowan/jigyukanri/shisei/IC20th.html>

3- (3) アイランドシティまちびらき20周年事業への協力 企画提案①「くるくるマーケット！」テーマ「循環社会の実現へ」



1



2



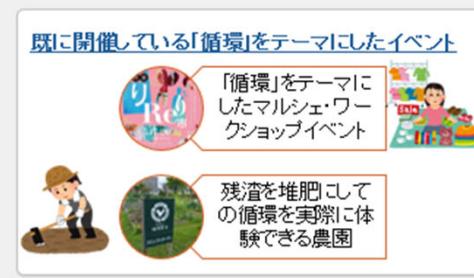
3



4



5



6



7



8



9



10



11



12

3- (3) アイランドシティまちびらき20周年事業への協力 企画提案②「のびるまち、照葉。」テーマ「自然と人が共に成長していくまちへ」

1

2

●私たちが考えた現状

- ・学生が多いのに集う場所がない
放課後や休日に過ごせるカフェ・共有スペースが少なく、学生が関わるる空間づくりが必要。
- ・駅が遠い（アクセスの課題）
最寄り駅「赤坂駅」や「千早駅」からバスで15~20分ほど。バス乗り場はあるが駅や停留所に直結があり、夜間は不便。
- ・志賀島のような“目的地”がない
観光・イベント・レジャーなどの「行く理由」が弱い。アイランドアイランドの商業施設はあるが、地域全体のテーマ住が弱い。
- ・緑化率が高いが、管理が行き届かず危険な場所もある
草が伸びて歩きしきり悪く、歩行者が生じる見えづらい。

3

提案① アイランドシティ清掃プロジェクト
「安全×景観×参加型美化」

- ・プロジェクトの目的
- ・アイランドシティの学校が中心となり、清掃活動を通して地域への愛着を高め、地域に貢献することを目的とします。
- ・学校教育の一環として、身近な環境を自らの手できれいにすること、「成功学」や「地域とのつながり」を実践的に学びます。

4

・活動内容

- ・対象：アイランドシティ内の小・中学校
- ・活動内容：学校ごとに周辺道路、公園、歩道などを清掃
- ・実施日：月1回の第3水曜日に実施
- ・連携：教員、PTA、福岡市環境局の協力のもと実施評価

5

評価とご褒美制度
・活動実績の取り組みを評価し、最も積極的に活動した学校を表彰します。

評価基準
・清掃の丁寧さ
・生徒の協力、積極性
・活動報告や発表内容
・環境への意識の高まり

6

今後の展望
・学校が地域の環境保全の中心的存在となることを目指す。
・他校との交流や合同清掃イベントへの発展を検討。
・清掃活動を通して、SDGsや地域活性化を学ぶ教育活動へ。
・みんなで学び、行動し、それなまちを未来へつなげましょう

7

8

【目的】
アイランドシティは住む地として発展している一方で、地域住民が気軽に立ち寄れる場所や、外の人が「寄ってみたい」と思える目的地が少ない。そこで、公園を活かしたスターバックスの出店を図して、街の活性の意と、来訪者を惹きつける新たな魅力づくりを目指す。

提案②：パーク・スタバ（中央公園内）

9

期待される効果
・地域住民の日常利用の場と位置づけ
・環境・チバイン西でもまちの魅力向上
・スタバブランドによる交流と来訪者

10

今まで出店が進まなかった理由
【人口・人気の問題】
居住人口は増加しているが、昼間人口が少なく平日利用が見込めない。
【商業環境の課題】
住宅・物流中心のまちづくりで、カフェが成立しにくいため。

11

出店実現に向けた3つの戦略
①立地戻路
・中央公園内は「パーク・スタバ」実現由来
・ドミニオス・ホール・併設型店舗を導入
②店舗コンセプト
・テーマ：「憩ひを信じる、日常の手かるスタイル」
・ガヨス×木の自然調和デザイン、走るギリギリ
③店名・平日需要の創出
・ヨーロピック機能や学生向けスペースで滞在促進

12

今後の展望
パーク・スタバは、ただコーヒーを楽しむ場所ではなく、地域のみんなが集まる「交流の場」を目指します。スマートフォンなど取り組みやガヨス会員の会員登録を通じて、地域の魅力を広めながら、日々に小さなアクションを実行します。ここまでのひとときが、笑顔と新しい発見を未来へつなぐ場所になりますように。

13

「のびるまち、照葉。」
これは、植草が伸びるといふ言葉を「自然と人が共に成長していくまち」というコンセプトを視点にえたテーマである。
スタバ式のよもじ新しい目的地の誕生によって人が集まり、学校環境での清掃や緑化活動を通して地域を守り育てることで、街の人々と一緒に「のびていく未来」を目指す。

14

28

3- (3) アイランドシティまちびらき20周年事業への協力 企画提案「くるくるマーケット！」テーマ「循環社会の実現へ」

ワークショップを通じ、企画を作成、事業に協力した感想

グループワークでは、みんなで意見を出し合いながら、より良いイベントになるよう工夫を考えるプロセスがとても刺激的でした。

自分には思いつかない視点やアイデアが次々と出てきて、“みんなで企画をつくる面白さ”を実感しました。

また、大勢の前でプレゼンをする機会は普段ほとんどないため、とても貴重な経験になりました。緊張もありましたが、自分の考えを言葉にして届けることの大切さを改めて感じました。

今回のワークショップを通して、地域のことを理解するだけでなく、自分たちがこれからのまちを支えていく将来の担い手であるということを強く意識するきっかけにもなりました。学んだことを今後の学びや活動にも活かしていきたいです。



ワーキングで企画を検討する様子

4.まとめ

「訪れたくなるフォトスポット」とはどんな写真か、私たちは以下の3つが重要だと考える。

- ①賑わいを感じられる写真
- ②撮るだけでSNS映えする写真
- ③ターゲットそれぞれに合わせた「体験性」を感じられる写真

美味しいものを食べたいというターゲットには、店の賑わいという体験性を。映える写真を撮りたいというターゲットには、オシャレなスペースで例えばバーベキューができるという体験性を。綺麗な景色の写真を撮りたいというターゲットには、あかりの灯る湖の夜景、アクティブな休日を過ごしたいターゲットには、広い芝生で思いっきり遊べるという体験性を。それぞれのターゲットに合わせ、「体験性」を感じられるような写真スポットが、「そこに行ってみたい」という意識の醸成、東区の魅力発信につながると考える。

最後に

アイランドシティ、和白干潟、御島崎・香椎浜は、都市の機能と自然が見事に調和した美しいエリアである。中央公園は広々としており、子どもたちや、家族連れが安心して楽しむことができる。和白干潟、御島崎・香椎浜は海風が心地よく、整備された遊歩道や水辺の景色も魅力的で、ゆったりとした時間が流れている。都会の喧騒と日常の忙しさをひととき忘れ、癒されたいときに訪れたくなるエリアであると思う。

「都会の日常に隣接したリゾート空間」として同エリアを発信していくことが東区のファン&リピーターを獲得するために重要なことを提案したい。

九州産業大学地域共創学部観光学科

観光地域振興プロジェクト(3年生)

上田涼介、尾込果歩、加来真菜佳、勝野結心、後藤叶南子、榊原杏、重富明瑠、知念艶乃、福園楓音、森美結、福田健太

担当教員 地域共創学部観光学科 教授 永松 賀文／アドバイザー 九州観光機構 次長 白澤 恒平